

平成28年(2016年)8月30日
総務委員会資料
政策室企画担当

平和の森公園再整備基本設計(案)中間のまとめについて

区民のスポーツ・健康づくりの場としての機能や憩いの機能、防災機能等、公園全体の機能向上を図るため、平和の森公園再整備基本計画を本年6月に策定し、基本設計(案)の作成を進めている。このたび中間のまとめを行ったので報告する。

1. 平和の森公園再整備基本設計(案)中間のまとめ

別紙「平和の森公園再整備基本設計(案)中間のまとめ」のとおり

2. 平和の森公園再整備概算整備費

- | | |
|--------------|----------|
| (1) 新体育館整備費 | 約 86 億円 |
| (2) その他公園整備費 | 約 22 億円 |
| (3) 合計 | 約 108 億円 |

3. 設計・施工の手法について

基本設計の支援業務については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ・健康づくりムーブメントの中心施設として活用するため、早期開設が必要であることから、新体育館の基礎構造について、東京都下水道局との継続的な協議を行うことに鑑み、基本計画と同一の事業者が発注し、作業を進めているところである。

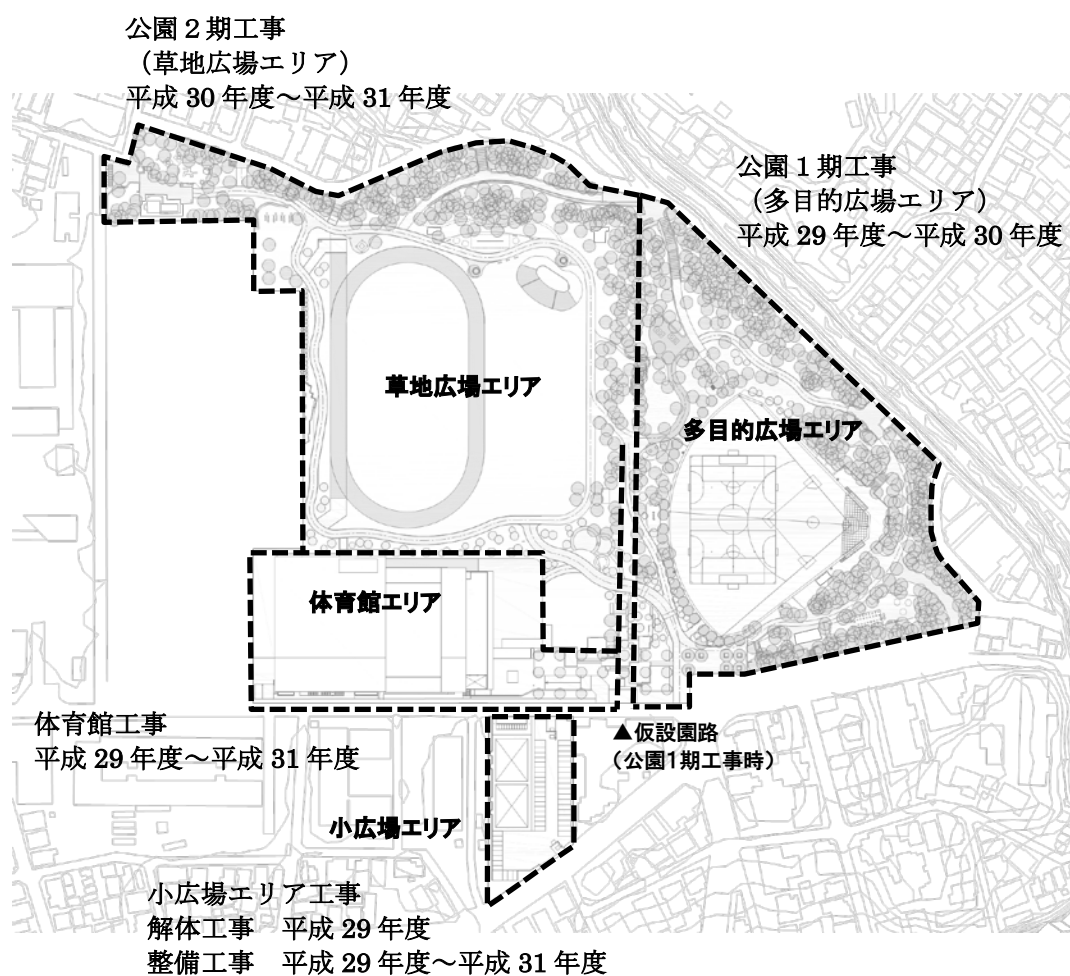
今後行う実施設計・施工については、同様の趣旨から早期に開設する手法の検討を行ってきたところであるが、公園整備については、多目的広場エリアから着手して開園し、第2期工事として草地広場エリア等の整備を行うこととし、新体育館については、「実施設計・施工一括発注方式」が工期短縮に有利であることから、今後、実施事業者の選定作業を行うものとする。

4. 今後の予定

- | | |
|------------------------------|---------------|
| (1) 平成 28 年 10 月 | 基本設計(案)作成、説明会 |
| (2) 平成 28 年 11 月 | 基本設計策定 |
| (3) 平成 28 年 12 月～平成 29 年 7 月 | 実施設計(公園整備) |
| (4) 平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月 | 体育館設計・施工事業者選定 |

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (5) 平成 29 年度～平成 30 年度 | 多目的広場等工事・開設（第 1 期工事） |
| (6) 平成 29 年度～平成 31 年度 | 新体育館実施設計・施工・開設、小広場
整備・開設 |
| (7) 平成 30 年度～平成 31 年度 | 草地広場等工事・開設（第 2 期工事） |

(工事区分図)



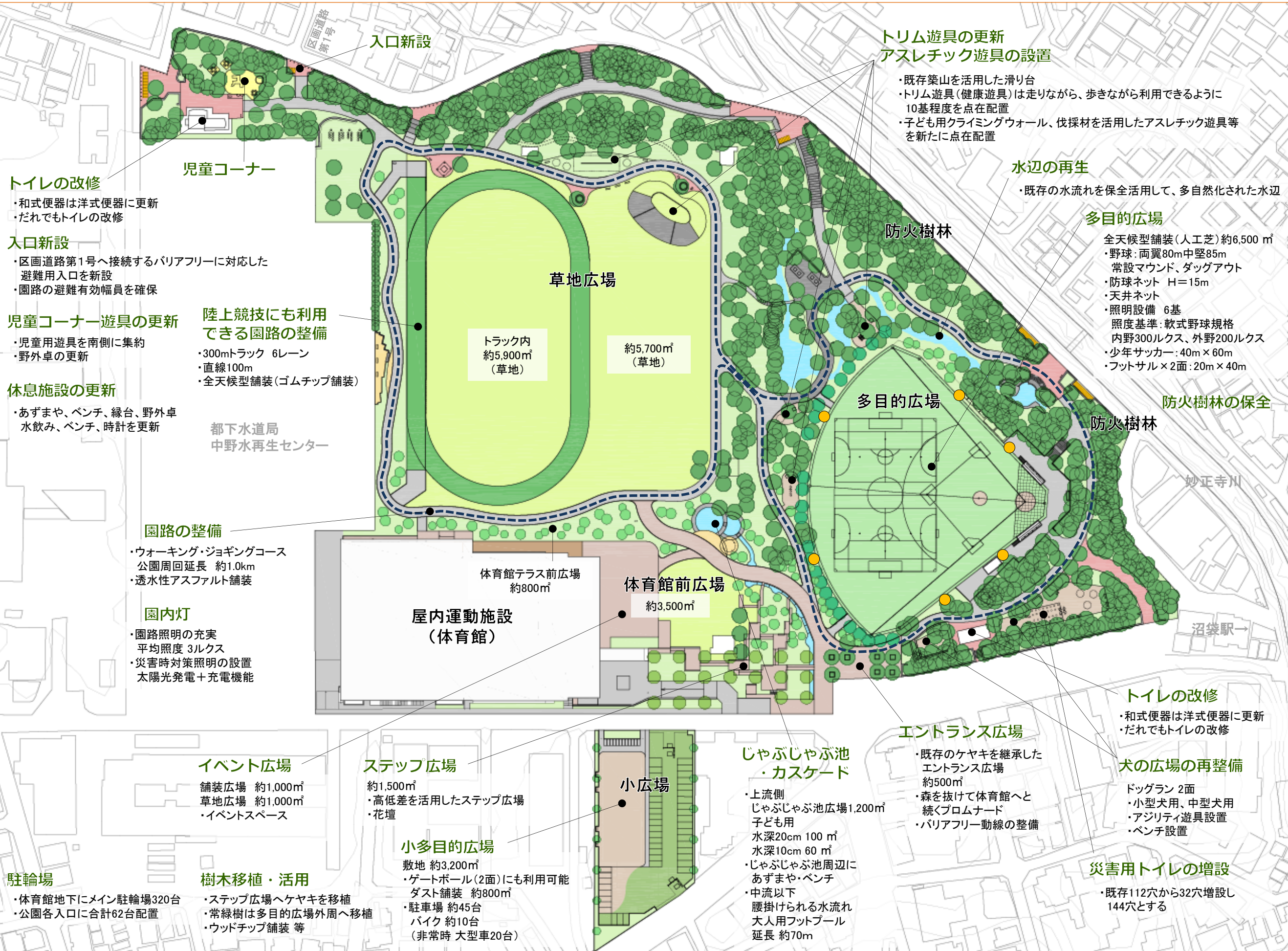
平和の森公園再整備基本設計(案)中間のまとめ

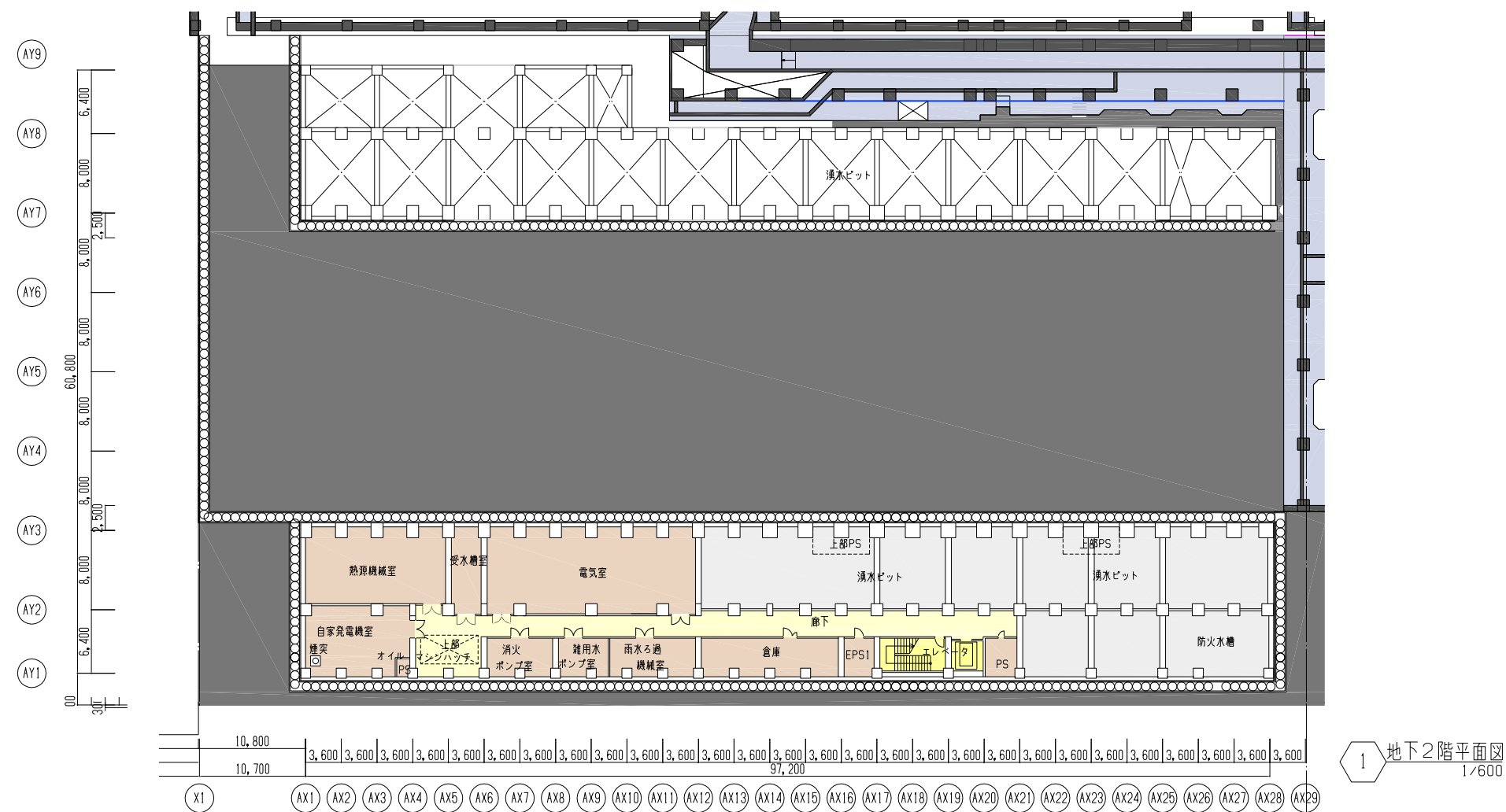
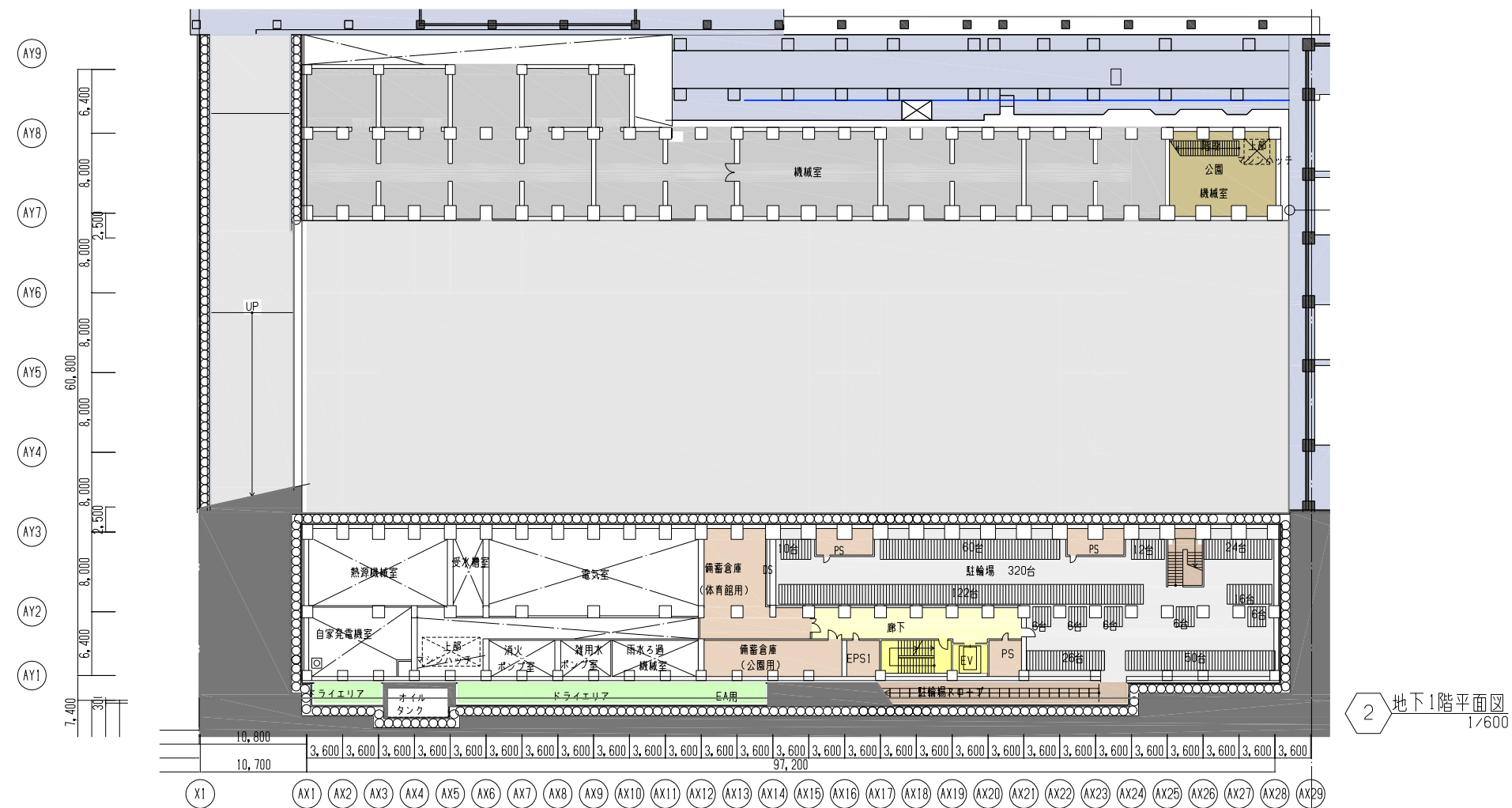
別紙

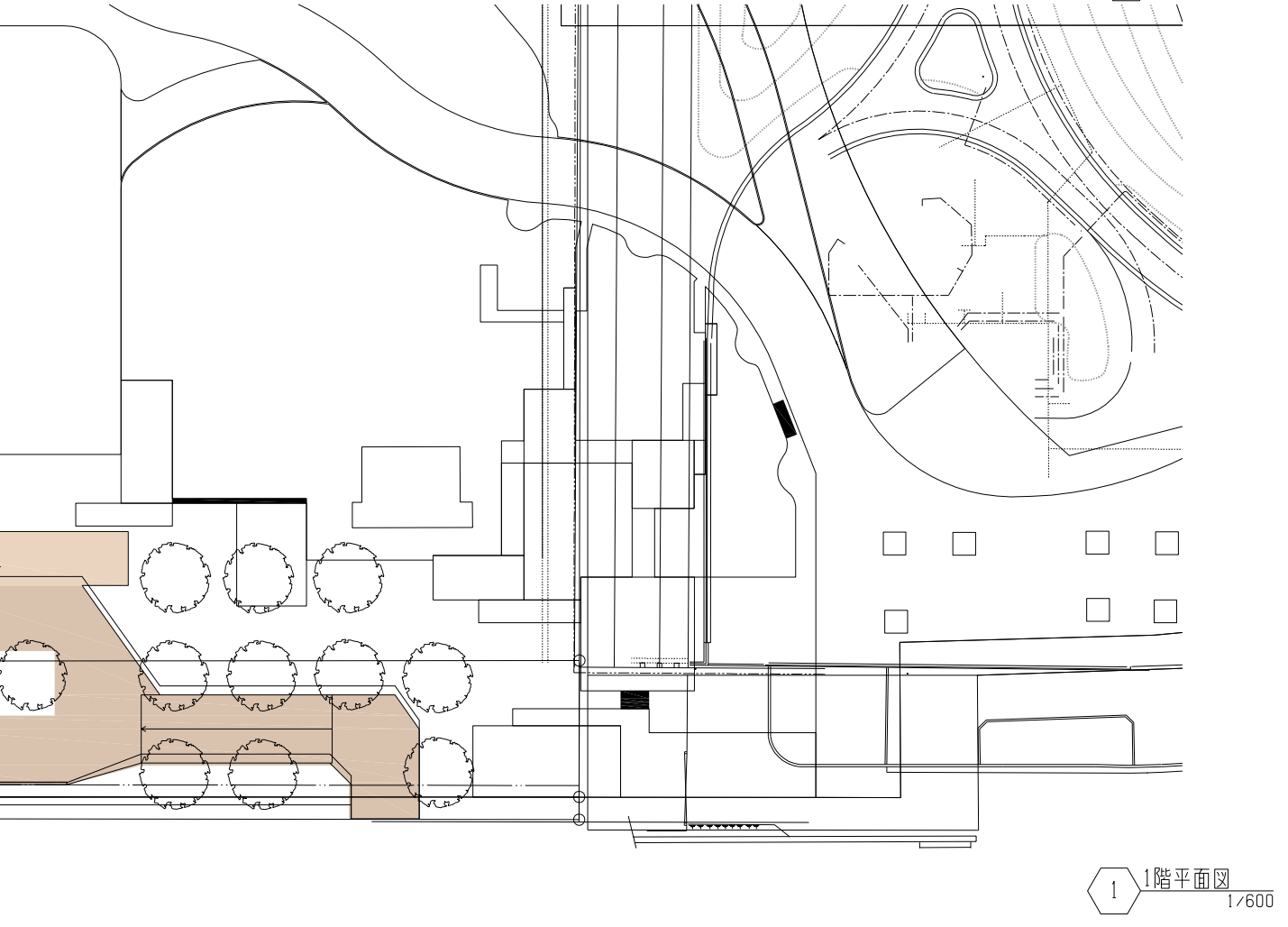
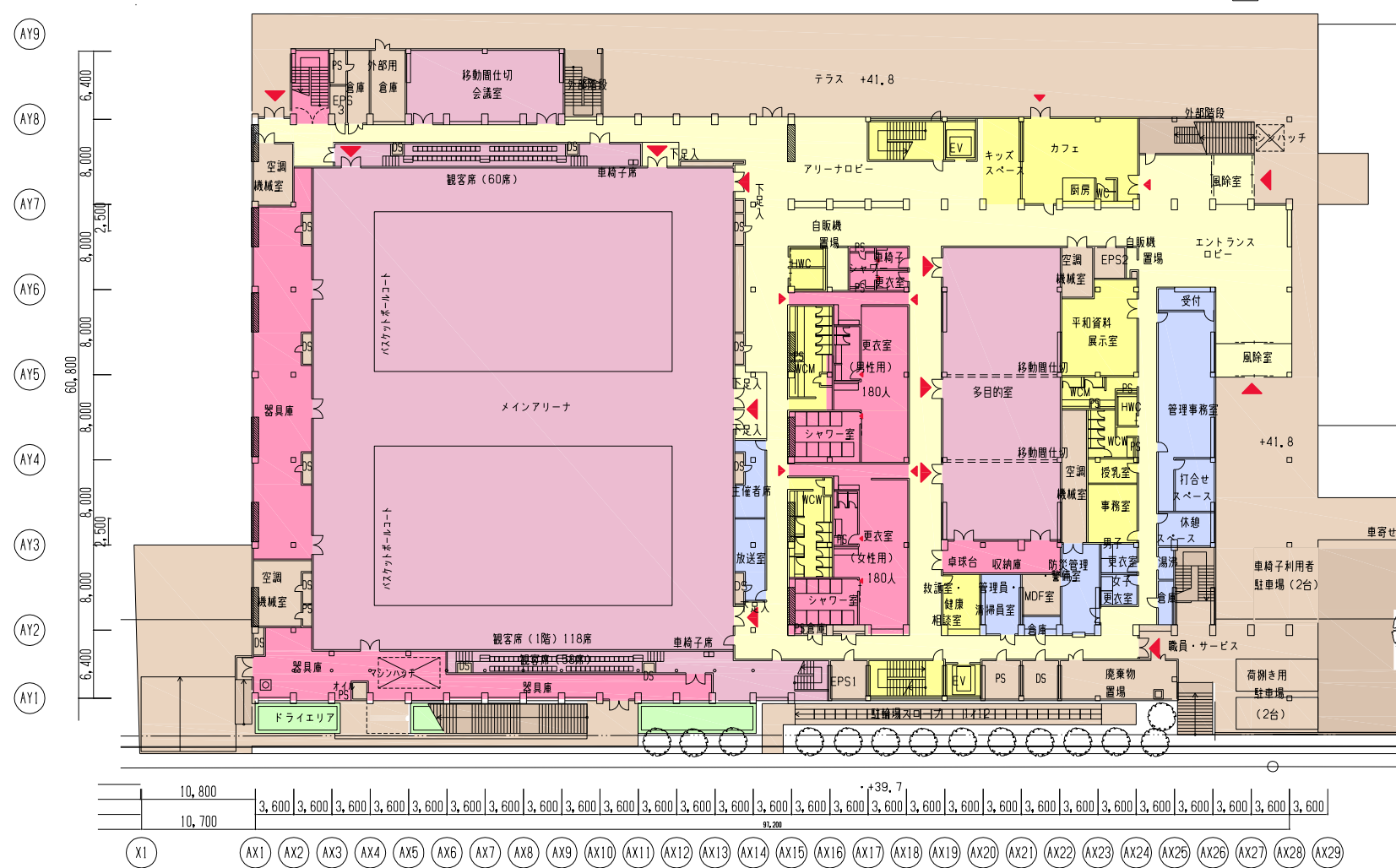
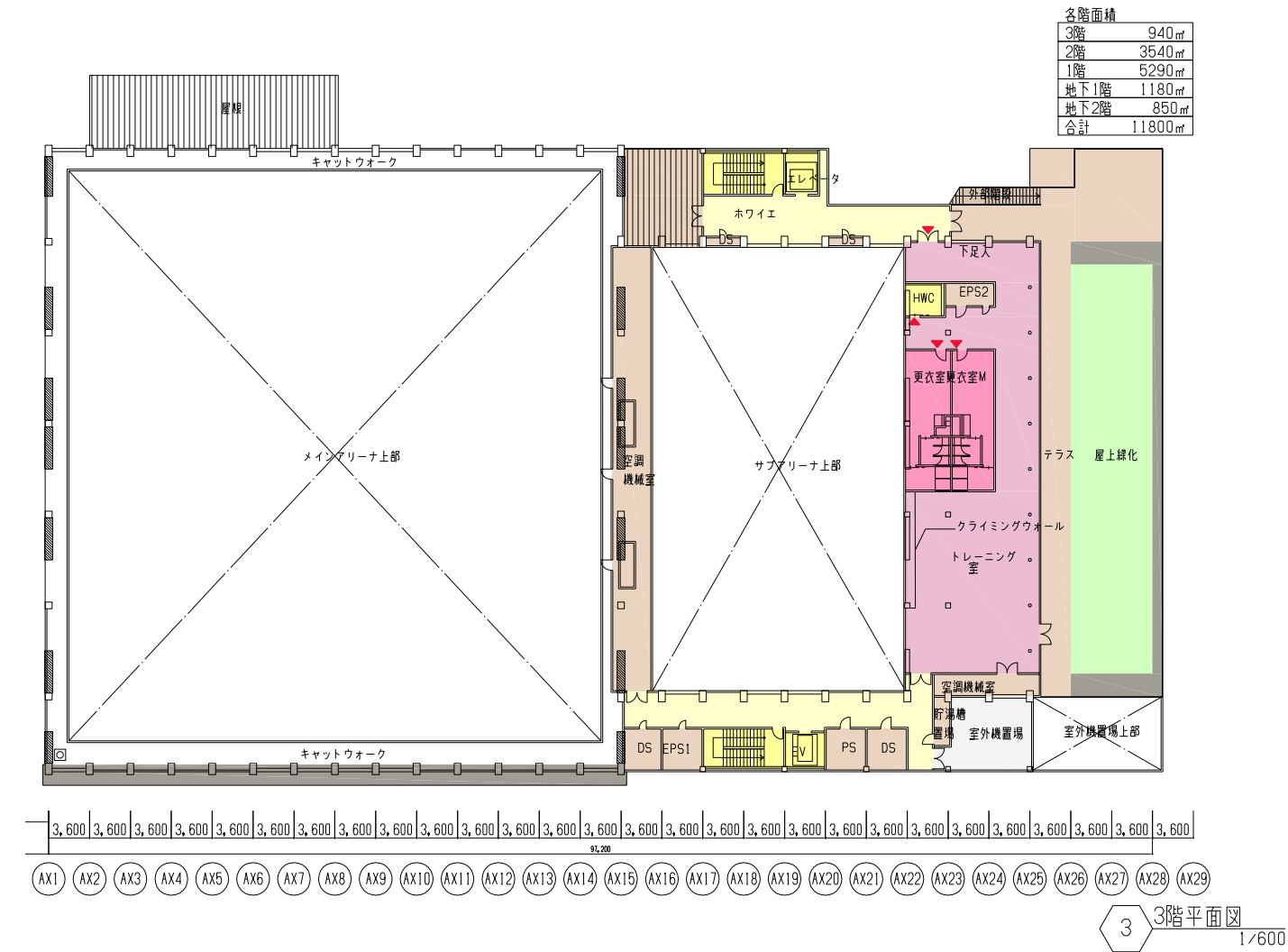
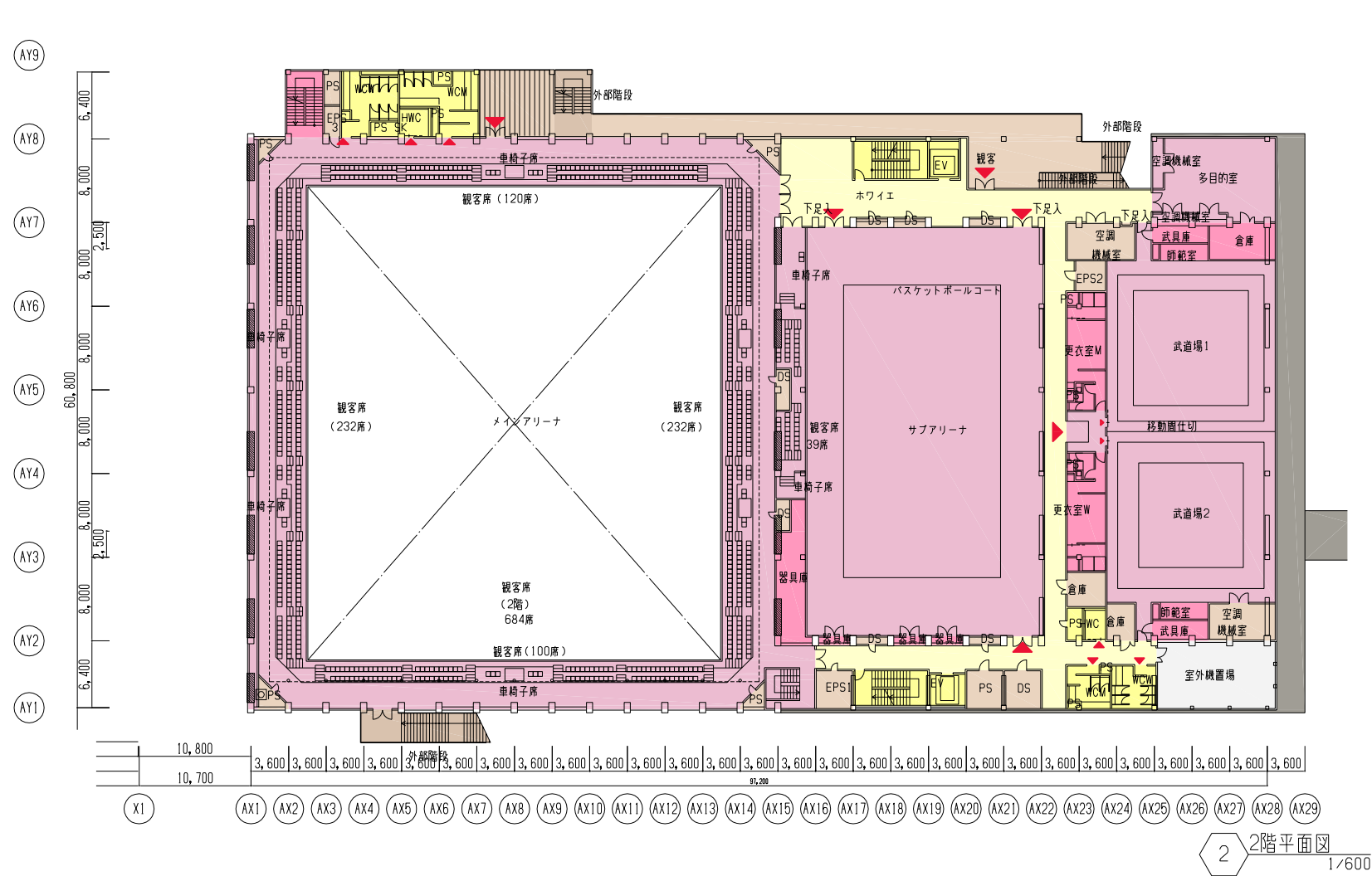
- ・区民のスポーツ・健康づくりの場としての機能を高め、平和の森公園全体の機能向上を図るため、体育館の新設を含む平和の森公園再整備を行います。
- ・平和の森公園は、豊富な緑、広大な空地进行をかしながら(1)「だれもが親しめる快適な公園機能の充実」、(2)「地域防災の拠点としての公園機能の充実」を本計画の方向性としします。
- ・新体育館は、全区レベルの競技大会を開催するにふさわしい総合体育館として、延床面積11,800㎡程度の規模を有するとともに、幅広い人びとが気軽に利用できる体育館を計画します。
- ・平和の森公園未開園区域に中野水再生センターの下水処理施設を建設に先立って、区が公園施設として体育館を整備をします。

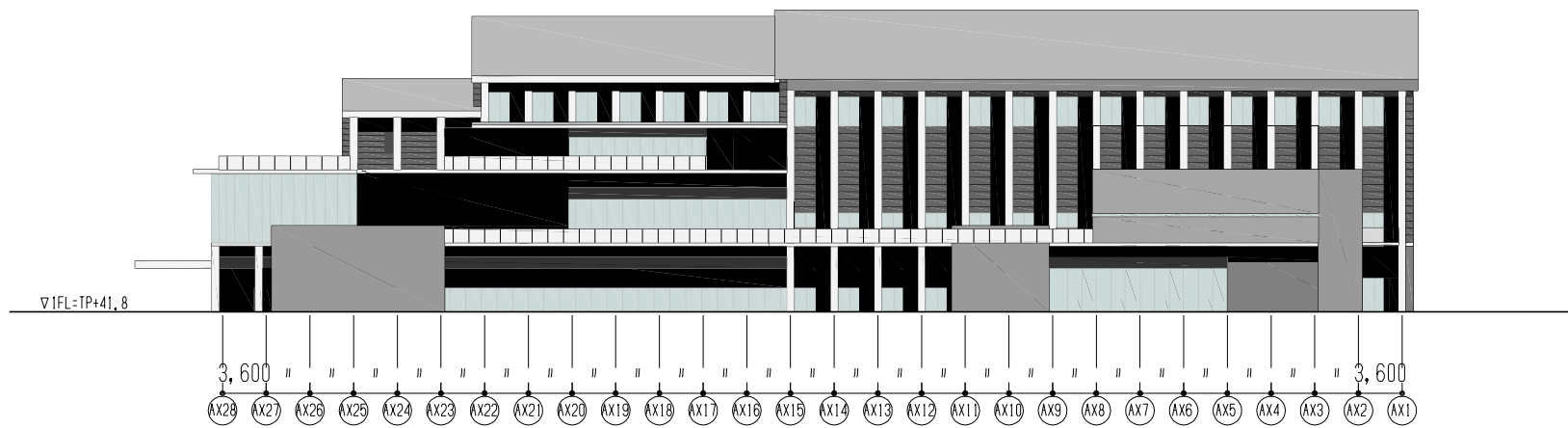
平和の森公園再整備基本計画	
基本的な考え方	
公園整備	(1)公園機能の充実 ①憩い・休息機能 ～広大な広場を中心とした憩い・安らげる場所～
	②スポーツ・健康増進機能 ～スポーツ振興の中心的な場所～
	③交流機能 ～様々な地域活動の拠点を担う場所～
	④環境保全機能 ～豊かな緑を継承する森に触れ合う場所～
	⑤オープンスペース・景観形成機能 ～四季の変化を感じる樹林やオープンスペースが広がる場所～
新体育館整備	⑥歴史文化機能 ～歴史と文化を伝承する場所～
	(2)防災機能の向上 ～地域防災の拠点となる場所～
	①広域避難場所機能
	②帰宅困難者対応機能
	③警察、消防や復旧・復興支援団体の滞在・活動拠点機能
新体育館整備	④区対策本部の代替施設機能
	基本的な考え方
	①スポーツ振興の中心となる体育館 ・全区レベルの大会を円滑に行うことができる施設 ・スポーツ・健康づくりムーブメントの推進のため、幅広いスポーツ機会を提供する施設
	②安心・安全な利用とユニバーサルデザインに配慮された施設 ・障害の有無や年齢等に関わらず、多様な区民が安心して利用できる施設 ・スペースにゆとりがあり、動線の確保や防犯など、安全な利用に配慮した施設
	③公園利用者の利便を高める施設 ・屋外スポーツ機能と連携し、公園全体の利便性向上に資する施設 ・公園利用者が快適に憩い・休息できる施設
新体育館整備	④環境に配慮した施設 ・自然エネルギーの有効利用、高効率な設備機器の積極的な採用など、環境負荷の低減に配慮した施設
	⑤防災機能の向上 ・新井薬師前駅、沼袋駅の帰宅困難者の一時滞在施設としての活用 ・防災備蓄倉庫の拡充 ・警察、消防、各種支援団体、ボランティアなど復旧・復興支援団体の滞在・活動拠点としての活用 ・救援物資の輸送拠点とするため、広い収容スペースと荷捌き場所としての活用 ・区対策本部の代替施設としての活用
	⑥歴史文化機能 平和の森公園の前身である旧中野刑務所が、戦時中に政治犯や思想犯を多く収容していた歴史的な経緯も踏まえて、区民が身近にこれらの歴史について触れ、平和の大切さについて考えることができる施設

平和の森公園再整備基本設計(案)		
ゾーン	規模	基本設計(案)の概要
1. 公園全体		
・既存樹木		・枝打ち等の森林管理を実施するとともに、樹林地が裸地になっている場所へ低木や地被類を補植するなど緑の再整備
・休憩施設		・公園整備にともない対応が必要な既存樹木をステップ広場や多目的広場外周、小広場に移植するなど既存樹木の有効活用
・トイレ	2箇所	・安全性や快適性を高めるため、老朽化したベンチやあずまや、テーブルなどを更新し、各所に配置
・既存水辺		・時代のニーズにあわせて、和式便器は洋式便器に改修するとともに、老朽化しているだれでもトイレを全面改修
		・生物の生息・生育環境を確保するため、既存の水流れを補修、改良をするとともに、水生植物を補植する
		・ろ過装置の更新や落差を利用したエアレーションによってよどみを解消し、水辺で住民参加の新たな交流や子供達が自然と触れ合い、環境について学ぶ事ができる、森のせせらぎの親水施設へ改良
・園路	公園周回延長 約1.0km 透水性アスファルト舗装	・ジョギングやウォーキングが安全に行えるよう、老朽化した園路舗装を改修
・園内灯	平均照度 3ルクス	・草地広場周回 約500m、多目的広場周回 約450m、公園周回延長 約1.0km
・遊具	・トリム遊具(健康遊具) ・アスレチック遊具	・園路は夜間でも安全で安心して利用できるよう、平均照度3ルクス以上を確保
・駐輪場	382台	・老朽化したトリム遊具(健康遊具)をリニューアルするとともに、ウォーキングしながら健康増進を図ることができるよう園路沿いに10基程度点在させる
2. 多目的広場		・子どもの自由な発想や運動機能を高める遊具を園路沿いに新たに点在配置(子ども用クライミングウォール、伐採材を活用したアスレチック遊具等)
多目的広場	全天候型舗装(人工芝)約6,500 ㎡ ・両翼80m中堅85m ・防球ネット H＝15m、天井ネット ・照明設備 6基	・体育館地下にメイン駐輪場320台を整備するとともに、公園各入口に合計62台設置し、自転車による来園者の利便性を高める
3. 草地広場		
・園路	全天候型舗装(ゴムチップ舗装) 300mトラック／直線100m 6レーン	・他のスポーツの支障とならない位置に常設マウンドを設け野球設備を充実させ、またダッグアウトを全面改修
・既存築山		・軟式野球の規格である、内野300ルクス、外野200ルクスを確保できるナイター用照明設備を新たに設置
4. 体育館前広場		・降雨後も早期に利用できるように排水のよい人工芝とし、快適性、利用率を向上させるとともに、バックネット裏に足洗いもできる多目的広場用の給水施設を設置
・イベント広場	舗装広場 約1,000㎡ 草地広場 約1,000㎡	・野球以外のスポーツ利用として、少年サッカー(40m×60m)、フットサル:2面(20m×40m)、ゲートボール:4面(15m×20m)ができるコートを整備
・ステップ広場	約1,500㎡	
・じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池広場 約1,200㎡ 水深20cm 100㎡／水深10cm 60㎡	・トラック競技に活用できる300mトラック／100m直線コースは草地広場の一部としても利用でき、降雨後も早期に利用が可能なクッション性のあるゴムチップ舗装を採用
・カスケード	延長 約70m	・草地広場に新たな子どもの遊び場空間として、既存築山を活用した滑り台の整備
5. 小広場		
敷地	約3,200㎡	・ケヤキ並木のエントランス広場から森を抜けて草地広場や体育館前広場に繋がるプロムナード(バリアフリー動線)を整備
6. 犬の広場		
ドッグラン	2面	・ケヤキ並木の景観を継承したエントランス広場を再整備し、体育館前まで高低差のある敷地に平場と傾斜路を複合させた森の中を楽しめるステップ広場を整備
7. 防災機能		
		・体育館前に公園の賑わいを創出する、イベント利用が可能な舗装広場と草地広場を連続させて整備
		・じゃぶじゃぶ池からプロムナード沿いにカスケード(段差のある水流れ)の親水施設を設け、大人も子どもも利用できる快適なクールスポットを創出
		・じゃぶじゃぶ池周辺にあずまや・ベンチを配置し、保護者や子どもの休息・交流機能を付加
		・ゲートボール(2面)にも利用可能な小多目的広場(ダスト舗装)の整備(約800㎡)
		・小広場には、普通車45台、バイク10台が駐車できるスペースを確保し来園者の利便性を高める
		・公園のイベント時や災害時は駐車スペース(大型車20台可能)として利用可能とするため、敷地全体をフラットに整備
		・既存の犬の広場の北側部を拡大し、小型犬用、中型犬用の2つの広場へ再整備。また、アジリティ遊具等を設置し犬の遊び機能を拡充
		・飼い主の休息と交流のため、ベンチ等の休息施設を設置
		・既存防火樹林は必要な手入れを施し保全
		・避難道路となる区画道路第1号へ接続するバリアフリーに対応した公園出入口を新設し、公園西側地区からの新たな避難用動線を確保
		・園内灯の一部は太陽光発電式とし、災害時に安否確認に有効なスマートフォンなど通信機器の充電機能を付加
		・災害用トイレは既存112穴から32穴増設し144穴とし、避難計画人口37,513人に対応
		基本設計(案)の概要
1. 基本性能		・公園内の体育館として、景観に配慮しボリューム感を抑え分節されたデザインとし、公園広場と一体となり連続するようなテラスを持つ開かれた体育館とする
2. 主な所要諸室		・環境配慮型体育館を目指し、自然採光や太陽光発電、高効率な設備機器の積極的な採用など、省エネやCO2の削減に取り組む
		・災害時の区対策本部の代替施設として、防災拠点の構造強度(重要度係数1.5)を持たせた体育館とする
		・応急対策のための事業継続を図ることを目的とし、非常用発電機や中圧ガスの利用等ライフライン途絶対策を行う
・メインアリーナ	約1,795㎡ (38m×45m程度、天井高17m) 観客席800席程度	・多様な公式競技に対応した機能・設備を備え、全区的な大会を円滑に実施できる規模(バスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、バドミントンコート8面、テニスコート 2面)
・サブアリーナ	約885㎡ (22m×38m程度、天井高12.5m) 観客席30～50席	・多様な障害者スポーツ等を行うことができる安全性と耐久性を備えた長尺弾性塩ビシートの床材とするとともに、壁面を緩衝・防音仕様とする
・多目的室	1階:約305㎡	・大会等の際に外部からの物品の搬入経路を確保するため、専用の搬入出入口を設置
・武道場	約525㎡	・メインアリーナ横に主催者席、放送席を設置し、観覧席は、1階に約110席、2階に約690席を確保するとともに、2階観覧席外周部にランニングコースを設置
・ロビー・ホワイエ	約350㎡	・メインアリーナを補完する機能を持ち、利用者が効率的かつ柔軟な利用ができる機能とし、多様な公式競技を行うことが可能なスペースを確保(バスケットボールコート1面、バレーボールコート1面、バドミントンコート4面、テニスコート1面、武道の大会)
・トレーニング室	約330㎡	・多様な障害者スポーツやニュースポーツ等を行うことができる安全性と耐久性を備えた長尺弾性塩ビシートの床材とするとともに、壁面を緩衝・防音仕様とする
・更衣室・ロッカー室	1階:約300㎡ 2階:約80㎡ 3階:約95㎡	・鏡面、手すり等を整備し、卓球(卓球台7台)のほかダンスやヨガなどの用途にも対応できるものとする
・シャワー室	※更衣室・ロッカー室に含む	・メインアリーナやサブアリーナを使用する大会時の控室として使用するとともに、可動式の仕切りを設置することで、多種多様なスポーツ・健康づくり事業のスペース等として柔軟に活用
・カフェ・売店・テラス	カフェ・売店:約90㎡	・剣道・柔道・空手道等の武道における公式競技が行えるスペースを2面確保
・平和資料展示室	約60㎡	・可動式の仕切りを設置することで、小・中規模大会の実施など、柔軟な利用に対応
・会議室	約100㎡	・メインエントランス及びメインアリーナ近辺に設置し、利用者の利便性を高める
3. 防災機能		・メインアリーナで行われる区民大会等の参加者がゆとりを持って休憩や待機することができる形状・規模
		・ランニングマシン、エアロバイク等の有酸素運動系マシンや、筋力系マシンを適正に配置できるスペースを確保
		・他の施設利用者との独立性を高めた位置に配置し、動線の交錯を防止する
		・多様なスポーツニーズに対応するため、壁面にクライミングウォールを設置
		・シャワー室と接続する配置とし、1階には障害者用ブースを独立して設置
		・1階は、公園利用者も利用できるものとする
		・各階に設置し、利用者の用途に応じた独立性のある配置により動線の交錯を防止する
		・ロッカー、更衣室に接続が可能なものとし、障害者用ブースを独立して設置
		・1階は公園利用者も利用できるものとする
		・体育館利用者及び公園利用者双方が利用できる施設を体育館西側の草地広場に隣接した位置に設置し、利便性を高める
		・1階エントランスロビーと接続する位置に設置し、個室の仕様とする
		・大会の円滑な運営や各種活動に対応するため設置
		・災害時に活動拠点として機能できる配置・機能の構築
		・沼袋駅及び新井薬師前で発生する約2600人の帰宅困難者の一時滞在施設として活用できる、安心・安全な建築・設備
		・災害時に物資等をメインアリーナへ搬出入するための出入口を確保

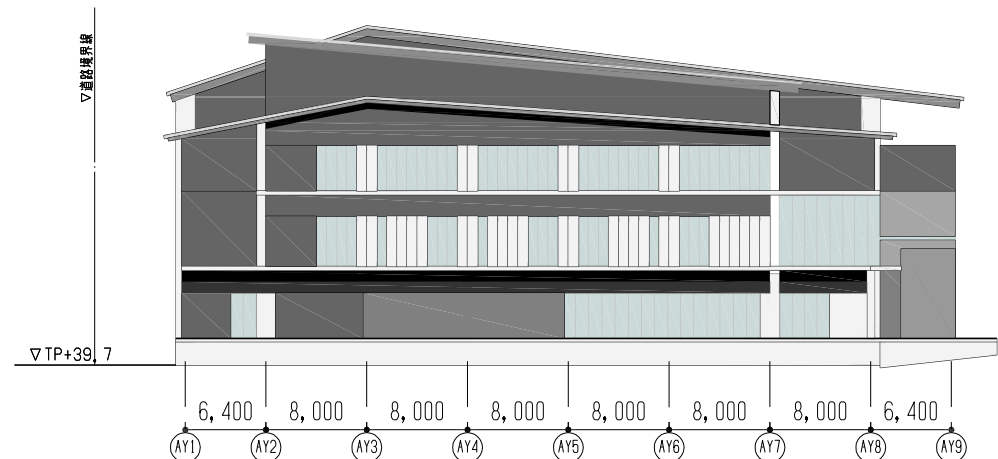




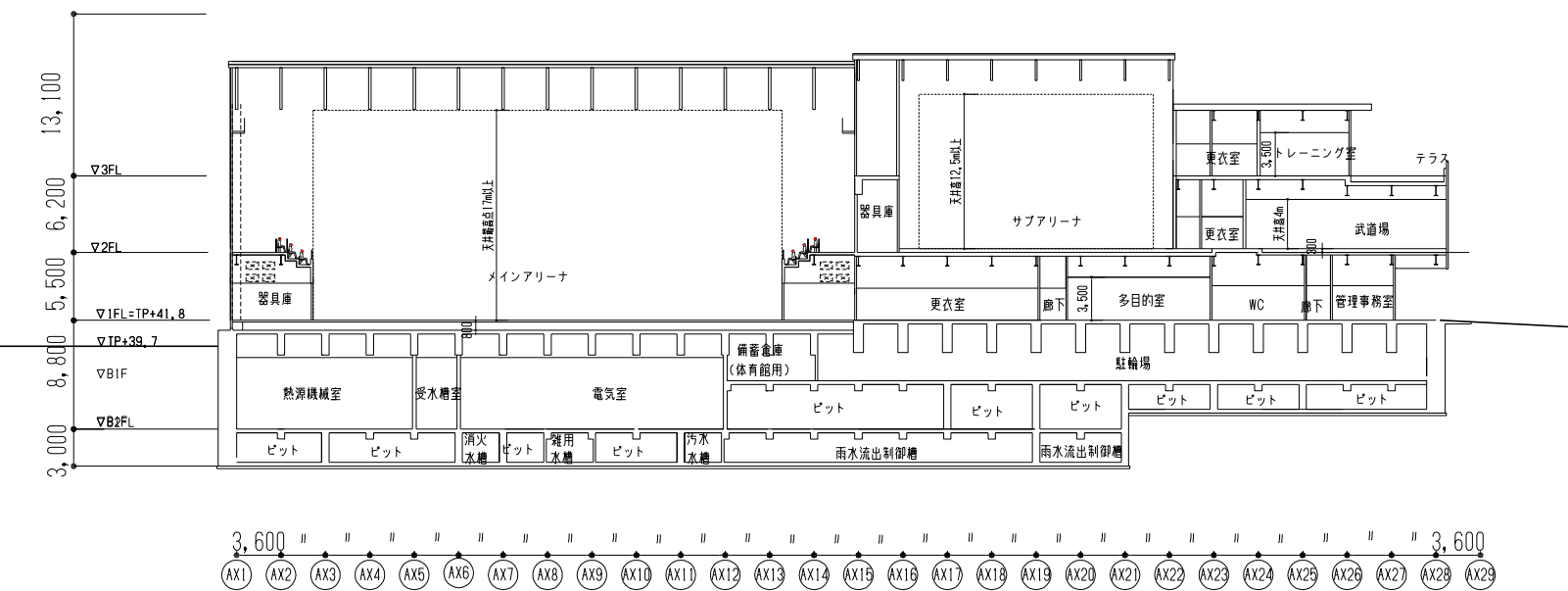




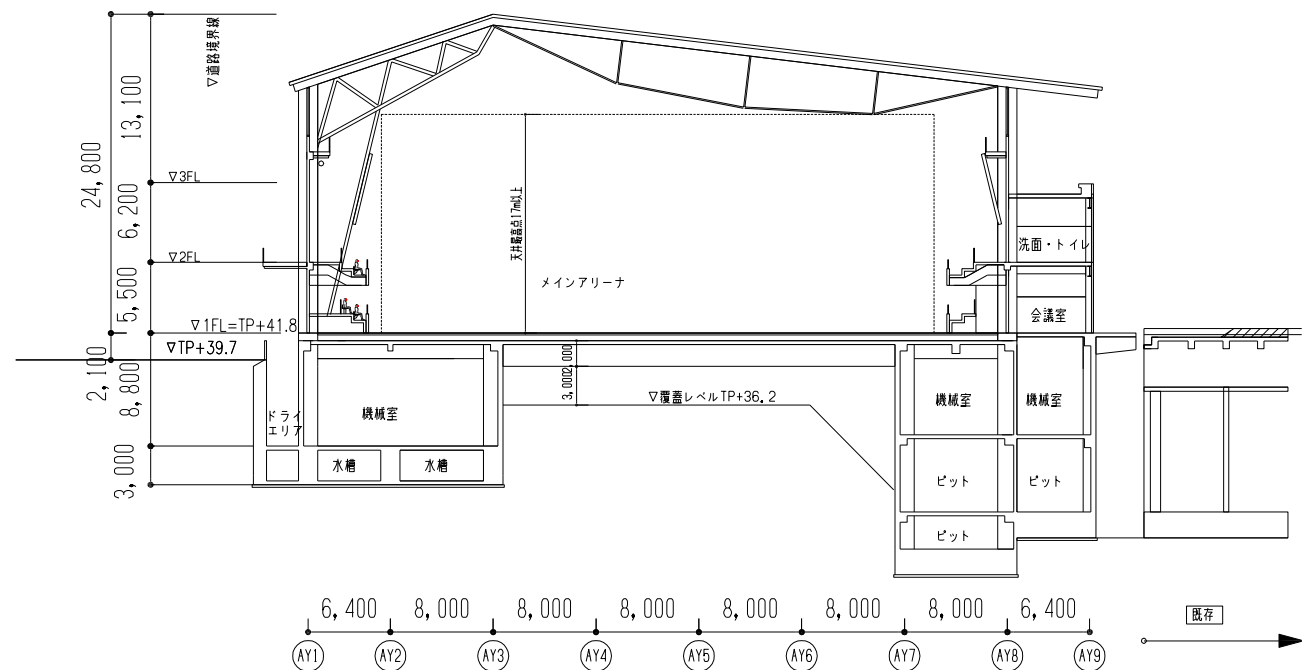
1 西立面図 1/600



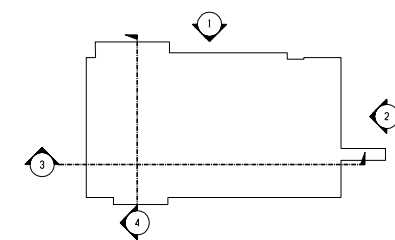
2 北立面図 1/600



3 断面図 1 1/600



4 断面図 2 1/600



5 キープラン